

# 初開催！高校生 アイデアコンテスト

～高校生のアイデアが未来をつくる～

子育てしやすいまちへ

やってみたい  
しごとができるまちへ

未来につながる  
住みよいまちへ

いつでも訪れ  
やすいまちへ



最優秀賞・優秀賞等のチーム  
には賞品を贈呈!!

現在、市では、市内高校生の皆さんが考える地域活性化のためのアイデアを募集中です。皆さんの想像力豊かな発想で、より明るく住みよい鹿屋市をつくっていきましょう。

たくさんの応募を待っています！

応募については、右のQRコードで確認し、10月25日（木）までに指定の応募用紙（エントリーシート）を提出してください。

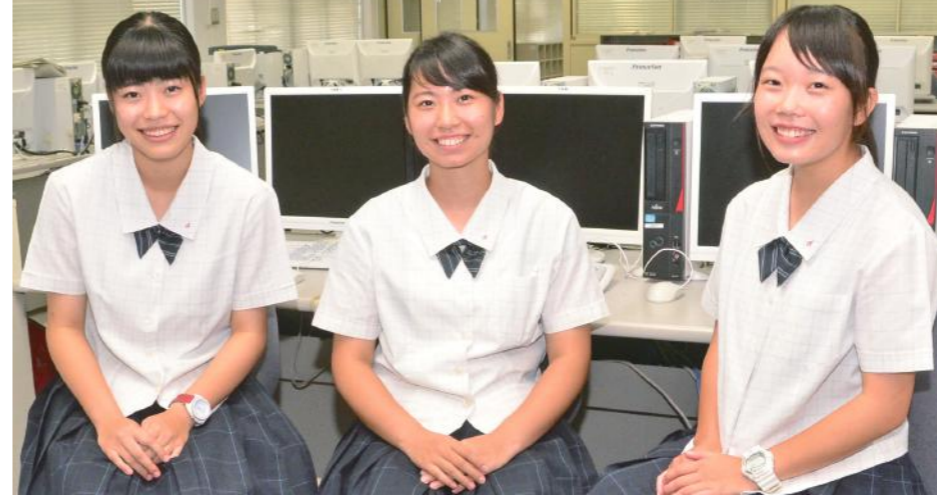


▲専用ページ

鹿屋市政策推進課 Tel 0994-31-1125

【上】「マーケティング・リサーチ部」がデザインしたパッケージ図案

【下】上のデザインをもとに製作されたパッケージの試作品



申良商業高校「マーケティング・リサーチ部」  
左から、中西 渚 さん、片桐 悠奈 さん、楠木 明日香 さん（いずれも2年）

申良商業高校には、商品開発を通して、地域に貢献しようという部活動があります。それが「マーケティング・リサーチ部」です。7月から富士屋製菓有限公司（大崎町）とコラボし、放課後を利用して、

## 商品開発で地域貢献

## 自分たちのアイデアを商品に



申良中学校ともコラボ。商品開発の過程に興味深げに聞く申良中学校「マカロンクラブ」のメンバー

大隅の特産品を活用した商品の開発・販売に向けた取り組みを行っています。これまでも申良商業高校では、商品開発・販売を積極的に行ってきたが、今回は、どういった人をターゲットに、どの特産品を使って、どのような味とデザインの商品にするのか、「マーケティング・リサーチ部」がすべて決めるといふ、初の試みに挑戦。部員はわずか3人ですが、協力しながら高校生ならではのユニークな発想を生かし、真剣に取り組んでいます。

### 貴重な経験ができた

商品開発の楽しさと大変さを知ったという「マーケティング・リサーチ部」の部員の皆さん。3人に、部活動に入ったきっかけや、今回の商品開発について聞きました。

以前からボランティア活動によく参加していたという楠木明日香さんは、学校で行われている販売活動に参加したのをきっかけに興味を持ち入部したそうです。「業者の人とコラボして商品を考えていくなんて、この部活動に入っていないとできない貴重な経験。やってきて良かったです」と楠木さん。

### 鹿屋のお茶を商品に

「マーケティング・リサーチ部」が商品化を決めたのは、鹿屋市の「お茶」と肝付町の「辺塚だいたい」を使った2種類のキャラメル。いずれも大隅の特産品として親しまれていることから採用されました。

商品のコンセプトなどをメーカー側に詳しく提案した後は、商品化に向けた動きが急ピッチに進行しました。8月28日にはキャラメルの試作品が完成し、教職員らとともに試食。アンケート結果としてとりまとめ、メーカー側に伝えました。

9月14日には、「マーケティング・リサーチ部」がデザインした図案をもとに製作されたパッケージの試作品がメーカー側から提示され、配色や文字の配置などについて意見交換が行われました。

9月下旬には商品が完成。次は販売活動が待っています。文化祭やPTAの保護者説明会など校内での販売はもちろん、「ボランティアフェスティバル」や「くしら二十三や市」などの校外でのイベントでも販売する予定です。



メーカーの工場内でキャラメルの製造工程を見学・体験

好きで、販売活動に興味がありました。自分たちが一から考えた商品が、インターネット上で、SNS映えるようなものになったらいいなと思います」と期待をふくらませました。

パッケージのデザインを担当した中西渚さんは、「もともと商品開発に興味があつて入部しました。一から商品を作るのは初めてで大変でしたが、私たちのアイデアが形になって、とてもうれしいです」と話すと同時に、「来年は大人向けのお菓子ではなく、学生向けのお菓子が作りたいです」と、既に次の目標も描いています。

そして、3人は口をそろえて言います。「私たちの活動を見て『入部したい』と

### アイデアが商品になっていく過程が面白い

昨年、申良商業高校のイベントに参加した時、申良商業高校で商品開発中だったマカロンを試食しました。それがきっかけで、商品開発に興味を持つようになり、仲間とクラブを結成しました。

貴重な体験なので、話し合いを毎回楽しみにしています。みんなの意見を取り入れながら商品にしていく過程が大変面白いですね。

楽しみながら活動しているので、メンバーの団結力も増えています。来年1月に申良総合支所付近で行われる「くしら二十三や市」では、私たちマカロンクラブのメンバーも売り子になって、申良商業高校「マーケティング・リサーチ部」の皆さんと一緒に、商品の販売を頑張る予定です！



申良中学校「マカロンクラブ」  
キャプテン 假屋 悠太 さん  
(2年)

今後、今後は頑張りたいと思います」という生徒も出てきています。部員も増やしたいですね。そして、市内の多くの皆さんに、私たちの活動と、私たちの開発した商品を知ってもらえるよう、



富士屋製菓の社長と打ち合わせを行う申良商業高校「マーケティング・リサーチ部」と申良中学校「マカロンクラブ」